

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 4 号 (2017 年 7 月 20 日発行)

全日本大会、定期総会など上半期の主要な行事が終了しました。本号はそれらを中心にご報告します。海外の大会では、フット 0、トレイル 0 の世界選手権が開催されました。8 月には中国でアジアジュニアユース選手権が開催されます。

● 本号の内容

- ・ 社員総会および決算報告
- ・ 全日本大会&フォーラム報告
- ・ ISOM2017 が発行されました
- ・ 年齢別ランキング発表のお知らせ
- ・ これからの講習会
- ・ 世界選手権報告

● 社員総会および決算報告 (副会長：村越真)

6 月 10 日に東京海洋大学越中島校舎にて、法人の第五期定期総会が開催されました。定期総会では、定款に則り、28 年度事業報告案及び決算書案が審議され、可決されました。経常収益が昨年度より約 198 万減少したものの、経常費用が 1054 万円減少したことにより、28 年度には 722 万 6149 円の黒字決算となりました。黒字要因については、財政改革によって受取会費が 96 万円、受取認定料が 183 万円、受取登録料が 69 万円増加したことなどが大きく寄与しています。組織育成費の廃止、登録料や大会参加費の改定などにご協力いただいた会員、競技者各位に対して山西会長より謝辞が述べられました。

29 年度期には、財政をさらに安定させるとともに、改善の結果を会員や登録者へ還元する施策を進める予定です。なお 28 年度の事業報告、財務諸表については、JOA のウェブサイト (<http://www.orienteeing.or.jp/joa/works.php>) よりご覧いただけます。

総会では、理事の選出も行われました。ブロックおよび会員代表として、信原 靖、荻田育徳、奥田健史、高野由紀、新帯 亮、藤島由宇、楠見耕介、伊藤好信、木村佳司、瀬川 出の各氏が、また学識経験理事として、山西哲郎、村越 真、平島俊次、藤井範久、大里真理子、羽鳥和重、愛場庸雅、茅野耕治、島津 弘の各氏が選任され、監事として、齋藤和助、尾上秀雄の両氏が選任されました。なお、その後に開催された理事会では、互選により山西哲郎氏が会長、村越 真氏が副会長に、平島俊次、藤井範久、大里真理子、木村佳司の各氏が業務執行理事に選出されました(その後の書面理事会で新帯 亮氏が追加選任)。

総会後には、会員との懇話会が開催され、財政改善を踏まえた 29 年度期およびそれ以降の事業方針が示されるとともに、今後の活性化案についての意見交換が行われました。

● 第 43 回全日本オリエンテーリング大会報告 (業務執行理事：木村佳司)

2017 年 6 月 18 日 (日) 栃木県矢板市において第 43 回全日本オリエンテーリング大会が開催

されました。全日本大会の優勝者は、その年の年代別日本一となります。シニア、ジュニアの選手権者は以下の4名です。

男子 尾崎弘和 女子 稲毛日菜子 男子ジュニア 佐藤遼平 女子ジュニア 香取菜穂

今回の全日本大会から開催形態が変更され、改革全日本大会の最初となりました。今まで42回毎年欠かさず実施されてきた全日本大会ですが、今までの地方都道府県協会の持ち回り開催では継続が困難となってきています。今回からJOA内部の実行委員会の直轄開催とし、大会プロデューサーを公募、指名して実施する形になります。歴史ある全日本大会が日本のオリエンテーリング競技者の目標となり続け、さらに発展してゆくための改革です。

その効果はひとまずは関連イベントを含めた総参加者という数字にすぐに表れました。今まで漸減傾向だった参加者は増加に転じ、今回の参加者は900名を超えました。また、参加した方一人ひとりの大会への評価は高く、全日本大会がそれぞれの目標となる大会になりつつあります。しかし一方で大会を継続するために重要な会計面での課題は解決されていません。全日本大会の改革は道半ばというところです。

●0-Forum 2017 報告（業務執行理事：木村佳司）

全日本大会前日の2017年6月17日（土）に矢板文化会館（栃木県矢板市）において0-forumを行いました。テーマは「今後50年のオリエンテーリングとJOAのあるべき姿」講演者5名と聴講者20名程度で講演、討議を行いました。

この競技にはいろいろな方向性を持った人や色々な視点を持った人がいます。それらの方々の意見を聞き、見識を深め、議論することは、この競技を通じたそれぞれの生き方に多くの気づきとモチベーションを与えてくれました。引き続き会場では前日祭が行われ、矢板市の市民連合の皆さんによる、演目やダンスが行われ楽しい時間を過ごしました。

オリエンテーリング競技で矢板市を訪れることは多くても、こうして市民の皆さんと触れ合う機会は意外と少ないものですが、スポーツを通じた文化交流はとてもいいものだと感じました。

●ISOM2017が発行されました（地図委員会：中村憲）

IOFから新しい地図規定、ISOM2017が発行されました。これを受けて地図委員会では、日本国内での地図規定について検討し、以下のような方針を決定しました。

・ISOM2017に対応する日本国内の規定（JSOM）の制定は行わない（ISOM2017の和訳を作成するが、あくまで英語版が正）。今後日本国内で新たに制作する0-MAPはISOM2017に準拠して制作することを推奨する。

→国際大会で活躍する選手、あるいは国外から日本の大会に参加する選手のことを考慮すると世界標準で作る方がよい。今後更にISOMが改定された場合に、JSOMとの整合性が取りづらくなる可能性がある。JSOM独自の記号、規定もISOMの記号の組み合わせで表記可能。などの理由から決定しました。

当面の間は公認大会を含め、JSOM2007準拠の地図の使用を認める。大会要項に準拠する規定を明記すること

→国内にはJSOMで作られた良質な地図が多数ある一方、これをISOM2017に変換するのは手間が

かかるため、地図資産の有効活用の観点から。

・今後の大会では JSOM、JSSOM 準拠の地図であっても、必ず耕作地等には立入禁止の紫ハッチを重ねて表記すること。

・トレイン内に立ち入り可能な耕作地等が存在する場合でも、開けた土地、荒地などの記号を用いて表記する。

→JSOM2007 および JSSOM2007 では耕作地、果樹園、ぶどう畑（以下「耕作地等」）は原則立ち入り禁止ですが、これは JSOM 独自のルールであり、ISOM2017 では立ち入り禁止ではありません。JSOM と ISOM の併存による混乱・トラブルを避けるため、耕作地には必ずハッチをかけて下さい。つまり、耕作地の記号は、単体での使用は不可で、立入禁止のハッチと重ね書きするか、開けた土地で代用するかのどちらかになります。

・近日中に ISOM2017 の日本語版を公開し、その後 ISOM2017 を日本国内で使用する際のガイドラインを作成する予定です。

●これからの講習会等

詳細は <http://www.orienteering.or.jp/event/> をご覧ください。

- 8 / 11 ナヴィゲーションインストラクタ研修会 埼玉県
- 8 / 13 コースプラン&リスクマネジメント研修会 大阪府
- 8 / 26-27 コントローラ資格認定・更新講習会 滋賀県 近江希望ヶ丘ユースホテル)
- 10 / 7-8 オリエンテーリングD1、D2級養成講習会 愛知県
- 11 / 18-19 コントローラ資格認定・更新講習会 埼玉県（埼玉県スポーツ総合センター）
- 12 / 9-10 インストラクタ養成講習会 徳島県

ディレクター講習会（10月7-8日）

公平・公正で安全、そしてオリエンテーリングの特性を活かした活動を実現するために、指導員制度は根幹となるものです。このような社会から求められるものを実現するためのスキルと知識・見識を学ぶための機会がオリエンテーリングディレクター講習会です。

1級については、コントローラ講習で行われる地図・競技規則を免除した2日間で行います。また、1・2級とも、昨年夏と今年の夏に行われる大会運営講習会の受講者については一部内容を免除できます。受講料についてもその分割り引きます。

場所 愛知県青年の家（愛知県岡崎市美合町並松1-2）

受講料 20,000円

申込締切 9月25日

●年齢別ランキング発表のお知らせ：あなたのランキングは？

6月26日付けで28年度の年齢別ランキング上位者が発表されています。若年層ではMW12、MW15、MW18、MW20、MW21、それ以上ではMW25から5歳ずつ、公認大会出場者にポイントを与え集計したものです。男子M21では松下陸生選手、M25では尾崎弘和選手、W21では小野澤 清楓選手、W25では柳川 梓が1位となっています。

詳細は http://www.orienteering.or.jp/archives/2017/0626_28-13.php をご覧ください。

●フットO世界選手権大会結果報告（エストニア，タルトゥ）

●6月30日 スプリント予選（15位まで予選通過）

男子ヒートA 31位：松下睦生 13:51 +2:50

男子ヒートB 失格：上島浩平，ミスパンチ

男子ヒートC 27位：尾崎弘和，12:44

女子ヒートA 失格：小野澤清楓，ミスパンチ

女子ヒートB 28位：勝山佳恵，15:24

女子ヒートC 28位：柳川 梓，15:05

●7月2日 スプリントリレー

優勝：スウェーデン，1:03:35

29位（出走33チーム）：小野澤清楓-上島浩平-松澤俊行-勝山佳恵，1:28:11

●7月4日 ロングディスタンス

男子

優勝：Olav Lundanes（ノルウェー），1:45:25

62位：尾崎弘和，3:01:03

女子

優勝：Tove Alexandersson（スウェーデン），1:19:10

48位：稲毛日菜子，2:03:50

●7月6日 ミドルディスタンス

男子

優勝：Thierry Gueorgiou（フランス），33:12

64位：谷川友太，55:12

70位：松下睦生，1:03:00

女子

優勝 Tove Alexandersson（スウェーデン），32:34

60位：宮川早穂，1:08:38

●7月7日 リレー（フォレスト）

男子

優勝：ノルウェー，1:34:50

29位（35チーム出走）：尾崎-松下-谷川，2:32:57

女子

優勝：スウェーデン，1:41:12

26位（30チーム出走）：稲毛-宮川-柳川，3:36:20

●フットOジュニア世界選手権大会（フィンランド，タンペレ）

●7月10日 ミドルディスタンス予選

女子予選1

1位 Veera Klemettinen（フィンランド），23:31

47位 河村優花（日本） 44:26

49位 高橋ひなの (日本) 46:16

女子予選2

1位 Simona Aebersold (スイス), 23:32

45位: 増澤すず (日本) 57:19

46位: 小竹佳穂 (日本) 59:00

女子予選3

1位 Sofie Bachmann (スイス), 24:43

45位: 宮本和奏, 40:37

48位: 稲垣秀奈美, 50:40

男子予選1

1位 Olli Ojanaho (フィンランド), 21:18

28位: 稲森 剛, 28:44

54位: 椎名晃丈, 46:03

男子予選2

1位 Simon Imark (スウェーデン), 24:01

51位: 上野康平, 37:42

56位: 新田見優輝, 47:20

男子予選3

1位 Akseli Ruohola / Mathieu Perrin 23:04

40位: 岩井龍之介, 33:44

50位: 森清星也, 57:50

●7月11日 ミドルディスタンス決勝

女子A決勝

優勝: Simona Aebersold (スイス), 23:15

女子C決勝

1位: Justyna Kostrzevska (ポーランド), 26:11

4位: 増澤すず, 28:39

7位: 宮本和奏 29:55

13位: 稲垣秀奈美 36:00

22位: 高橋ひなの 42:04

26位: 河村優花 48:27

27位: 小竹佳穂 53:12

男子A決勝

優勝: Olli Ojanaho (フィンランド), 23:47

男子B決勝

1位: Nick Smith (ニュージーランド), 23:35

41位: 稲森 剛, 30:19

50位: 岩井龍之介, 39:07

男子C決勝

1位: Richard Gremmel (オーストリア), 22:12

12位：森清星也，26:14
33位：新田見優輝，32:10
37位：上野康平，34:29
40位：椎名晃丈，39:19

●7月12日 スプリント

男子

優勝：Olli Ojanaho（フィンランド），13:59
108位：森清星也，16:42
110位：稲森 剛，16:45
119位：新田見優輝，16:59
141位：椎名晃丈，17:37
151位：上野康平，18:23
153位：岩井龍之介，18:48

女子

優勝：Simona Aebersold（スイス）14:02
119位：増澤すず，18:19
125位：宮本和奏，18:43
133位：稲垣秀奈美，21:45
136位：高橋ひなの，22:01
137位：河村優花，22:43
失格：小竹佳穂

●7月14日 ロングディスタンス

男子

優勝：Olli Ojanaho（フィンランド），1:05:11
93位：稲森 剛，1:29:13
136位：岩井龍之介，11:41:06
137位：新田見優輝，1:41:13
151位：森清星也，1:52:46
158位：椎名晃丈，2:00:50
162位：上野康平，2:18:45

女子

優勝：Simona Aebersold（スイス），56:03
117位：宮本和奏，1:34:10
131位：増澤すず，1:47:12
134位：河村優花，1:52:05
137位：稲垣秀奈美，2:02:30
138位：高橋ひなの，2:05:29
140位：小竹佳穂，2:16:21

●7月15日 リレー

●トレイルO 世界選手権大会 (ラトビア)

●TempO 予選

Heat Red

1位 : Pavol Bukovác (スロバキア), 246.5 点

8位 : 岩田健太郎, 313.5 点

36位 : 木村治雄, 567 点

Heat Green

1位 : Antti Rusanen (フィンランド), 193.5 点

23位 : 田代雅之, 482 点

24位 : 小泉辰喜, 488.5 点

●TempO 決勝

優勝 : Vetle Ruud Bråten (ノルウェー), 282

10位 : 岩田健太郎, 388